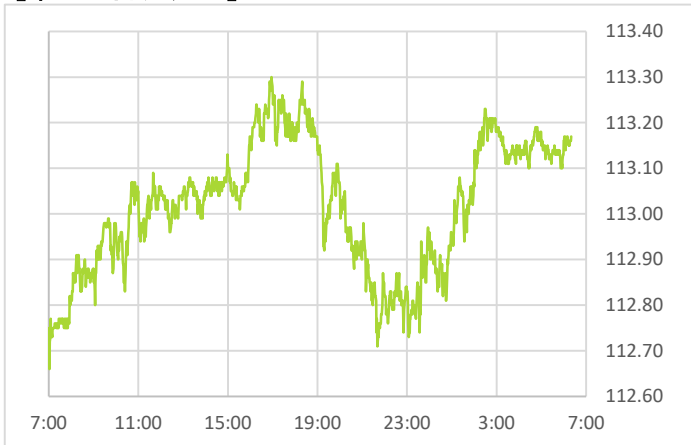


2021年12月3日(金曜日)

前日のトピックス

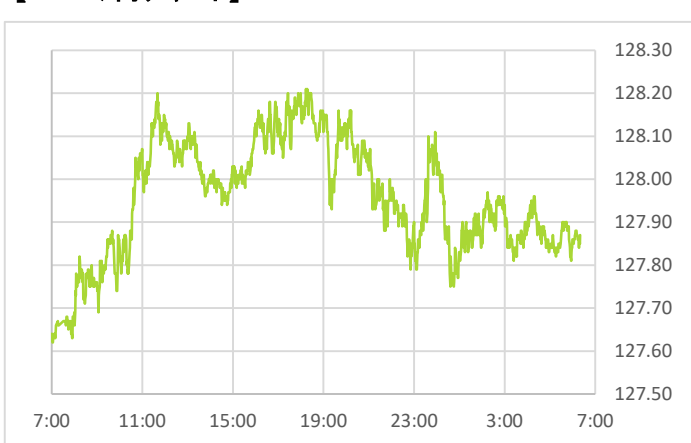
【米ドル/円チャート】

(出所: Refinitiv)



【ユーロ/円チャート】

(出所: Refinitiv)



【推移レンジ】

(出所: Refinitiv)

	オープン (NY時間17時)	安値	高値	クローズ (NY時間17時)
ドル/円	112.75	112.63	113.33	113.21
ユーロ/ドル	1.1321	1.1295	1.1347	1.1301
ユーロ/円	127.74	127.71	128.21	127.89

(*)オープン値、クローズ値は、NY時間17時(東京時間7時(夏時間では同6時))時点の気配値

【相場回顧】

相場はオミクロン株への警戒感が後退

東京時間:

一ドル円は112円70銭付近、ユーロ円は127円70銭付近でスタート。日経平均株価は前日米国株がオミクロン株への警戒から下落した影響を受け売り優勢ながら下げ幅は限定的。米金利が低下しなかったことを背景にドル円は底堅く推移し、113円台へ戻す展開。

海外時間:

一欧州時間、米株先物が堅調に推移する中、ドル円は買い地合いとなり113円30銭付近まで上昇。南アフリカ国立伝染病研究所幹部からオミクロン株拡散の勢いはデルタ株を超える可能性があるとの見方が伝わると債券買いとなり金利は低下。為替はドル売りの展開でドル円は112円後半迄下落。その後、株・金利の低下が一服すると為替は小幅ドル買いへ。米経済指標(指標欄参照)の良好な結果もサポートとなった模様。イエレン財務長官発言(コメント欄参照)に対しては動意に乏しく為替は小動きであったが、FED高官からタカ派の発言が相次いだことから米10年債利回りは一時1.46%台まで上昇、為替はドル買い加速でドル円は113円20銭台まで続伸した。一方で米株は押し目買いが入り大幅反発した。

主要相場動向

【株式市場】

		終値	前日比
日	日経平均	27,753.37	▲ 182.25
米	NYダウ	34,639.79	+ 617.75
	NASDAQ	15,381.32	+ 127.27
独	DAX	15,263.11	▲ 209.56
英	FTSE100	7,129.21	▲ 39.47
中	上海総合指数	3,573.84	▲ 3.05

【国債利回り】

		引け(%)	前日比
日	10年国債	0.055	▲ 0.005
米	10年国債	1.444	+ 0.040
	2年国債	0.615	+ 0.064
独	10年国債	▲ 0.373	▲ 0.042
英	10年国債	0.813	▲ 0.008

【通貨オプション】

	1M ATM 引け(%)	1M R/R	
		引け(%)	OVER
ドル/円	7.50	0.99	JPY CALL
ユーロ/円	7.53	1.00	EUR PUT

【インデックス等】

	引け	前日比
ドルインデックス	96.16	+ 0.13
人民元基準値(公表値)	6.3719	+ 0.0026
VIX指数	27.95	▲ 3.17
米ドル3mth ICE LIBOR(公表値/%)	0.18013	0.00550

【商品市場】

	終値	前日比
金(COMEX)	1,762.70	▲ 21.60
原油(WTI)	66.50	+ 0.93

(出所: Refinitiv)

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。

2021年12月3日(金曜日)

行事・経済指標・発言等

【経済指標】

(出所: Refinitiv)

日付	国	内容	対象期間	結果	予想	前回	改定値
12/2	欧	生産者物価指数(PPI)(前月比)	10月	5.4%	3.5%	2.7%	2.8%
		生産者物価指数(PPI)(前年比)	10月	21.9%	19.0%	16.0%	16.1%
		失業率	10月	7.3%	7.3%	7.4%	-
12/3	米	新規失業保険申請件数	週次	22.2万	24.0万	19.9万	19.4万
	仏	鉱工業生産(前月比)	10月	-	0.5%	▲1.3%	-
	欧	小売売上高(前月比)	10月	-	0.2%	▲0.3%	-
	米	非農業部門雇用者数	11月	-	55.0万	53.1万	-
		失業率	11月	-	4.5%	4.6%	-
		平均賃金(前月比)	11月	-	0.4%	0.4%	-
	加	失業率	11月	-	6.6%	6.7%	-
米		非製造業ISM	11月	-	65.0	66.7	-

【コメント・発言等】

日付	国	発言者、イベント名	発言内容
12/2	米	イエレン財務長官 バイデン大統領 アトランタ連銀総裁	景気過熱の兆候として物価と賃金状況を注視 関税は米国での物価上昇に寄与する カオスや混乱に陥るのでなく、科学とすぼーどをもってオミクロン株と戦う 第一四半期末に向け資産購入ペース縮小終了する利点指摘 必要なら利上げ前倒しを可能にしておくべき

本日の相場予想

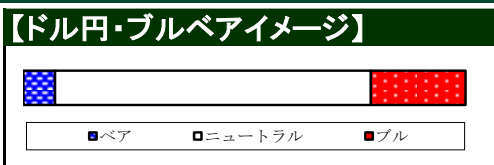
米雇用統計に注目

各国でオミクロン株の感染が報じられ、先行き不透明感が高まる中、本日は米雇用統計が発表される。FRBがタカ派姿勢を強めたことでドル高圧力が強まる中、良好な結果であれば緩和縮小を後押しする材料になりドル買いが加速すると予想。引き続きFED高官の発言には注意が必要。

予想レンジドル円: 112円60銭~114円00銭、ユーロ円は127円20銭~128円60銭。

(担当: 明山)

ディーラーの予想分布



弊行ディーラー(15名程度)による本日の相場予想(※1)の分布(※2)です。

(※1)本レポート作成時点での、本日ニューヨーククローズにおけるレート水準の予想

(※2)ブル: 50銭超の上昇(円安)、ベア: 50銭超の下落(円高)、ニュートラル: 上下50銭以内

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。